

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	福岡東子ども発達センター・さくら園		公表日	2025年3月20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・年長クラスはロッカーが足りず、棚の上に荷物を置くという対応になっている。 ・定員オーバーしているクラスがある。 そのため、教室が狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの利用状況に応じて、空いている職員が事務処理を行うことができている。 ・子どもの利用人数により、職員を振り分け子どもたちをきちんとみれるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数を増やすべきだと考える ・職員数の関係で仕方ないが、給食時に子どもに対応する職員が減る点気になる。 ・手薄に感じる事もある。 ・適切ではあると思うが、日によってはクラスの職員がばたついてしまうこともある。 ・年長児12名に対し、職員数3では足りないと感じるときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に情報を収集できるよう工夫している。 ・毎日、クラスの床、トイレなどの消毒を行い、清潔に保っている。 ・絵カードを用いたり、個人のマークを籠や靴箱などに貼ることで視覚的にわかりやすいようにしている。 ・スケジュールに絵カードを使用し、配慮されていると思う。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・コーナーガードをつけて、子どもたちが怪我をしないように工夫された空間になっている。 ・朝も帰りも月1の掃除もきちんと行われ、清潔な環境になっている。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・言語訓練は個別の部屋で実施している。 ・個別療育や病気の子が過ごせる部屋など様々ある。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの担任間、他クラス間でもよく話している。 ・行事ごとのアンケートで良かった点や反省点を全員が記入し、回覧してみることができている。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年年度末に評価表を保護者の方に配布し、ホームページなどで見れるようにしている。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの職員の思いを共有し、業務改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新職員の面談はあるが、その他職員に対しての機会はないように思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		<ul style="list-style-type: none"> ・現在第三者評価は行っていない。必要に応じて検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月様々な研修が行われている他、他法人とも交流できる研修も行われている。 ・月に1回程度行っている。 ・毎月事業所内で研修を行っている。 ・程よい頻度で研修が行われており、勉強になっている。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・無回答2 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月頃公開予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりに適して対応ができるよう職員間で沢山話し、最善の対応ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画が保育士や児童指導員に周知されていない。作成時に保育士や児童指導員の意見を聴くなどして、改善すべきだと思う。

14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	4		・職員間の共有まではいっていない。各個人で把握している程度。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4		
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・無回答1 ・毎月クラス担任で話し合いを行い、立案している。 ・子どもたちに身につけてもらいたい内容のねらいを明確にさせたくうえで同じ意識で支援を行っている。 ・みんなで話し合いながら行っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・無回答1 ・前年度などの活動を参考にしながら、前月の活動と照らし合わせて固定化しないように工夫している。 ・机上系、運動系のプログラムが偏りのないように組んでいたり、季節によってプログラムを変更している。 ・子どもたちにとって新しい経験ができるように同じ課題でも内容を変えて行っている。 ・月ごとに内容を決めて、机上課題や運動など静と動の動きを取り入れるように努めている。 ・過去を振り返りながら計画している。 ・先月先々月のカリキュラムを見て、振り返り、内容を少しずつ変えながら行っている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	3	・無回答1	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・無回答1 ・その日のPLが通園日誌を作成し、その中にその日の役割も記載している。内容は口頭でも確認する。 ・職員間での情報共有を大切にしている。 ・よく話をし、行っている。PLを中心にみんなで話し合っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・PLを中心に振り返りの時間を設け、気付きを共有して、次の日から改善できるように工夫している。 ・療育終了後、1日の出来事について共有し合っている。 ・その日、気になったことは必ず職員間で報告し、改善すべきことは対処方法を考えている。 ・日々振り返りを行い、子どもたちの様子や職員の動きなどを共有している。 ・クラス間で振り返りを行い、必要に応じて環境を変えている。 ・振り返りを毎日行い、よりよい支援が行えるようにしている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・記録は毎日行っている。またその日の反省会なども職員間で行っている。 ・子ども一人ずつの個別保育記録を毎日記入している。 ・毎日課題の内容や子どもたちの変化にちて記録を取っている。 ・ケースを記録するとともに、職員間で共有を行っている。 ・毎日記録を取っている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	3	・モニタリング会議を行っている。	・モニタリングができていないため、「10月にする」など時期を決めて行った方が良いと思う。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	・すべて整っているとはいえないが、各家庭に入っている別事業所とは連携を取っていると思う。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	6		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・情報共有を密に行い、相互理解を図っている。 ・電話や訪問等で情報共有を行っている。 ・伝えるべきことはきちんと伝えるようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	1	・無回答4 ・全体での研修や交換研修などで、情報共有を行うことができています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	3	2	・無回答4	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		5	・無回答4	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	・夏祭りや餅つき等の行事の中で交流する機会がある。	・他の園や施設の子どもと活動する機会が増えるとうい考える。 ・活動機会は今までない。 ・コロナなどの理由もあり、他の子どもとの交流はない。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・連絡帳、口頭、電話等を通して逐一報告し、共通理解を持つよう工夫している。 ・体調面や情緒面、行動面等変化があってもなくても伝えるようにしている。 ・連絡ノートや送迎時を中心に行っている。 ・年に2回発達相談会を設け、保護者と発達の状況や課題について詳しく話している。 ・連絡ノートや行きかえりの送迎時に保護者の方と情報共有を行うことができています。 ・小さな出来事も園であったことは、しっかりと引継ぎを行っている。 ・その日の子どもの様子やできることがあった時などすぐに伝えるようにしている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8		・開園して一度もない。 ・ペアトレ等を通して家族支援もするべきだと考える。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	3		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	2		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	3		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・連絡ノートや送迎時、電話などで定期的に家族の方からの相談に応じている。 ・定期的に発達相談会を実施している。	
	39	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4	・保護者懇談会や行事なども学期ごとで行い、交流する機会を設けている。	・保護者会はない。交流がなると嬉しいという声もあったが、保護者会を作る必要性はないという声もあった。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		・これまでお便りやHPIにて発信していたが、今年からLINEWORKSも導入し、発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・ホームページやお便りなどに写真をあげる際は、必ず写真の許可をいただくようにしている。 ・個人情報は外に持ち出さないようにし、ファイル等は鍵をかけている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・文字の読みに難しさがある保護者には、ルビを振ったり口頭でわかりやすく説明するようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		・夏祭りやもちつきを行った。 ・夏祭りやもちつきなどの行事で地域の方を招待している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	・月に1回訓練は行っている。	・マニュアルを把握しきれていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	・毎月行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・入園前、保護者の方にアセスメント表を記入してもらうなどして職員間でも情報共有している。 ・プログラム等を毎日預かるように対応している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・食物アレルギーと医師から診断された児はいないが、疑わしい食材は保護者の意向を取り入れて除去している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・毎日の振り返り時に職員間でヒヤリハットがなかったか確認している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・虐待だけでなく、様々な研修を通してあらゆる場面に適切に対応できるよう工夫している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	3			